

衛生化学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Zhang H, Pham C T, Chen B, Zhang X, Wang Y, Bai P, Zhang L, Nagao S, Toriba A, Nghiem T D, Tang N: Main Emission Sources and Health Risks of Polycyclic Aromatic Hydrocarbons and Nitro-Polycyclic Aromatic Hydrocarbons at Three Typical Sites in Hanoi.. Atmosphere 14(5): 782, 2023. doi: 10.3390/atmos14050782. (IF: 2.5)
2. Choi S H, Ochirpurev B, Toriba A, Won J U, Kim H: Exposure to Benzo[a]pyrene and 1-Nitropyrene in Particulate Matter Increases Oxidative Stress in the Human Body.. Toxics 11(9): 797, 2023. doi: 10.3390/toxics11090797. (IF: 3.9)
3. Choi S H, Ochirpurev B, Jo H Y, Won J U, Toriba A, Kim H: Effects of polycyclic aromatic hydrocarbon exposure on mitochondrial DNA copy number.. Human and Experimental Toxicology 42: 1, 2023. doi: 10.1177/09603271231216968. (IF: 2.7)
4. Matsuo K, Abiko Y, Yamano S, Toriba A, Matsusue K, Kumagai Y: Activation of the Keap1/Nrf2 Pathway as an Adaptive Response to an Electrophilic Metabolite of Morphine.. Biological & Pharmaceutical Bulletin 46(2): 338-342, 2023. doi: 10.1248/bpb.b22-00543. (IF: 1.7)
5. Matsuo K, Abiko Y, Yamano S, Matsusue K, Kumagai Y: Activation of HSP90/HSF1 Signaling as an Adaptive Response to an Electrophilic Metabolite of Morphine. Biological & Pharmaceutical Bulletin 46(2): 334-337, 2023. doi: 10.1248/bpb.b22-00531. (IF: 1.7)

A-c

1. Lin X, Zheng F, Gonçalves F M, Abiko Y, Li H, Kumagai Y, Aschner M: Environmental Heavy Metals, Oxidative Stress and Disease Potential: NRF2 Centered Genetic and Epigenetic Mechanisms. Environmental Stressors and OxInflammatory Tissue Responses : 91-106, 2023.

B 邦文

B-e-1

1. 古川彩夏,吉田さくら,安孫子ユミ,唐寧,鳥羽陽:越境輸送された微小粒子状物質(PM_{2.5})に含まれる多環芳香族炭化水素キノン類の分析. 日本薬学会九州山口支部大会講演要旨集(CD-ROM) 40th: 2023.
2. 加山 笑,立野凜奈,西香菜子,NING Baoshuo,安孫子ユミ,高橋 智,蕨栄 治: 4-Hydroxy-2-nonenal(4-HNE)によるp62の核内蓄積と核内タンパク質分解の促進. 日本生化学会大会(Web) 96th: 2023.
3. 古川 彩夏,吉田 さくら,安孫子 ユミ,唐寧,鳥羽陽: 石川県輪島市で捕集した大気粉塵中多環芳香族炭化水素キノン類の分析. フォーラム2023 衛生薬学・環境トキシコロジー: 2023.
4. 吉田 翔太,張 紅燕,高橋 隆二,吉田 さくら,安孫子 ユミ,鳥羽陽: 二酸化炭素超臨界流体抽出-LC-MS/MSを用いた植物試料中のマイコトキシンの分析法の開発. 日本分析化学会第72年会: 2023.
5. 安孫子ユミ, 吉田さくら, 鳥羽陽, 熊谷嘉人: 親電子物質曝露におけるPTP1Bポリスルフィド化の役割. Journal of Toxicological Sciences 48(Supplement (CD-ROM)): S151-S373, 2023.
6. 海老原佳奈, 稲葉和恵, 千田美紀, 安孫子ユミ, 佐久間知佐子, 小祝孝太郎, 高谷大輔, 渡邊千鶴, 今村理世, 岡部隆義, 小島宏建, 佐久間知佐子, 嘉糠 洋陸, 藤川雄太, 井上 英史, 本間 光貴, 千田 俊哉, 丹羽 隆介: ネットイシマカ由来のグルタチオンS-トランスフェラーゼに対する新規殺虫化合物の作用機序. 日本農芸化学会大会講演要旨集(Web) 2023: 2023.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	1	2	0	0	16

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
鳥羽 陽・教授	評議員	日本環境化学会
鳥羽 陽・教授	長崎県公害審査委員	長崎県
鳥羽 陽・教授	衛生試験法編集委員	日本薬学会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
鳥羽 陽・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「大気粒子による酸化・親電子性ストレスの同時計測法を用いた毒性評価と寄与物質の同定」
鳥羽 陽・教授	厚生労働省	分担	厚生労働行政推進調査事業費補助金「加熱式たばこなど新たなたばこ製品の成分分析と受動喫煙による健康影響の研究」
鳥羽 陽・教授	公益財団法人鉄鋼環境基金	代表	2023年度環境助成研究（一般研究助成）「生体高分子を用いる大気粒子の新たな毒性評価法の開発」
吉田さくら・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))「シンクロトロン放射光を利用したX線分光分析による必須微量元素セレンの代謝解明」
安孫子ユミ・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「親電子ストレスの可逆性担保における活性イオウ分子の意義」
安孫子ユミ・准教授	一般社団法人アズビル山武財団	代表	研究助成金（奨学金）「タイヤ滓に含まれる6PPD-キノンの生物学的影響評価」
鳥羽 陽・教授	クラシエ製薬株式会社		生薬及び漢方処方エキスのマイコトキシン分析法の開発

特許

氏名・職	特許権名称	出願年月日	取得年月日	番号
鳥羽 陽・教授	環境汚染物質の人体曝露評価方法	2006年3月23日	2011年11月25日	特許第4866983号
吉田さくら・助教	Survivin標的ペプチド	2017年10月24日	出願中	特願2017-205389
吉田さくら・助教	クロモン誘導体及びアミロイド関連疾患診断用組成物	2019年3月1日	出願中	特願2020-503654

その他

非常勤講師

氏名・職	職(担当科目)	関係機関名
安孫子ユミ・准教授	非常勤講師（医療科学概論）	筑波大学医療科学類
安孫子ユミ・准教授	非常勤講師（地球規模課題と国際社会：環境汚染と健康影響）	筑波大学大学院国際連携食料健康科学専攻

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
鳥羽 陽・教授	大気汚染物質の研究に注力	NR	2023年4月29日	大気汚染物質の研究について説明を行った。
鳥羽 陽・教授	「衛生」の言葉と概念をつくった長与専斎	とととってmotto	2023年10月27日	長与専斎の功績について説明を行った。